

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	地域高規格道路 <small>くもとあまくさかんせん</small> 熊本天草幹線道路 一般国道324号 <small>ほんど</small> 本渡道路	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県天草市港町 <small>あまくさしみなとまち</small> 至：熊本県天草市志柿町 <small>あまくさししかきまち</small>	延長	1. 3 km		
事業概要					
<p>熊本天草幹線道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市（旧本渡市）を結ぶ延長70kmの地域高規格道路として計画されており、熊本市と県内主要都市を90分で結ぶ構想（90分構想）の実現に必要な主要幹線道路である。</p> <p>事業区間は、熊本天草幹線道路の一部として、上述の役割を果たすとともに、天草瀬戸大橋前後区間の朝夕の慢性的な交通渋滞の解消や、事故・災害時の代替路確保等を図るために整備するものである。</p>					
H25年度事業化	H24年度都市計画決定 H28年度都市計画決定変更	H27年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約123億円	事業進捗率	約14%	供用済延長	— km
計画交通量	12,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 1.6 (残事業) 1.9	総費用： (残事業)/(事業全体) 87/103 億円 （事業費：86/102億円） 維持管理費：1/1億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 172/172億円 （走行時間短縮便益：130/130 億円） 走行経費減少便益：28/28 億円 交通事故減少便益：14/14 億円	基準年： 平成29年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.4~1.8(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7~2.1(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.8~2.2(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.7(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.1(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ①円滑なモビリティの確保 ②物流効率化の支援 ③国土・地域ネットワークの構築 ④個性ある地域の形成 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ⑥災害への備え ⑦地球環境の保全 ⑧生活環境の改善・保全 					
関係する地方公共団体等の意見					
・沿線市町村による熊本・天草間幹線道路整備促進期成会等からは毎年要望書が提出されており、依然として整備に対する要望は高い状況にある。					
事業評価監視委員会の意見					
<p>本事業は、熊本都市圏と天草地域との交流・連携を強化することにより、第一次緊急輸送道路の機能を拡充し、天草地域住民の安全・安心な暮らしに資するものである。</p> <p>また、天草地域の産業・経済・観光における重要な役割を担っている。このことから、今回の再評価における対応方針「継続」は妥当である。今後、工事の実施に当たっては、周辺の自然環境に配慮しながら、コスト縮減に努め、事業の早期完了を図ること。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
当該事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約8%、事業進捗率約14%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地取得に時間を要しているが、用地先行取得事業を活用し、残る用地の取得を計画的に進め、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
新技術の進展に伴う新工法の採用による新たな工法選定時に工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく					

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性に変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。